

東郷元帥記念公園 第16回協議会 議事要旨

1. 開会(区)
2. 挨拶(区)
3. 会長の挨拶(会長)
4. 議事
 - (1) 前回協議会(第15回)の議事要旨
 - (2) これまでの経緯
 - (3) 計画確認事項
 - (4) 現況樹木の取扱い方針
 - (5) 基準値超過区域内の現況樹木の取扱い方針
 - (6) 土壌調査結果を受けての工事スケジュールについて
配布資料
 - ① 資料—1 次第
 - ② 資料—2 前回議事要旨(第15回)
 - ③ 資料—3 東郷元帥記念公園改修工事検討協議会(第16回)
5. その他(区)
6. 閉会(区)

<意見交換(これまでの経緯、計画確認事項について)>

確認事項であったため、特に意見なし

<意見交換(現況樹木・基準値超過区域内の現況樹木の取扱い方針)>

学識者

・対策として透水性アスファルトを木の周りに覆い直接触れないようにする案があるが、樹木にとってはどうか。

学識者

・透水性舗装は目地に土が入り通気性が悪くなるため、樹木の根にとってはかなり厳しい状態になる。直接触れなければよいなら砂利のようなものを一定の厚さで表面に敷いた方が樹木にとってははるかに良い。

学識者

- ・透水性アスファルトは木のことを考えると透水能力に持続性がなく難しい。
- ・シルトや透水性・通気性の良いものを敷くと関東ロームよりも衰退を低減させられる。
- ・植枅だが、コンクリートでなくてもよいのならばコンクリートに代わる強固なもので設計するとよい。
- ・植枅の外側に根を誘導できるような発根促進できるプレミアムな良質土を入れるとよい。

学識者

・土壌から鉛のみ除去することはできないか。

学識者

・汚染土壌そのものを取り除き入れ替える以外の方法はない。

学識者

- ・分離層は何のために入れているのか。
- ・垂直に入っている分離層はいらぬのではぬいか。

学識者

- ・垂直の分離層は良質土と土壤汚染の境目を示すものであり、目印は必要。
- ・土壤汚染対策法では樹木について想定をしていなかった。
- ・被覆材料として「ガイドラインに小石何cmならば認める」という記載はぬい。東京都環境局と協議するとよい。

会長

- ・分離層をつくったとしても、基準値超過区域ということではぬわらぬいか。

事務局

- ・今回の工事では良質土扱いになるが、次回工事するときは基準値超過区域になる。
- ・分離層、被覆材料については、東京都と協議する。

委員

- ・汚染土の中にある木は汚染されてぬいぬいか。

学識者

- ・鉛は植物が利用するわけではぬいので吸収することはほとんどぬい。

委員

- ・樹木を大切にすることについてそれほどお金をかけて保全すべきぬいか。

事務局

- ・コストについては現在調査中である。コストもまた判断材料であるのでしっかりと提示する。

傍聴者

- ・樹木や人体に対してそこまで影響のぬいにもかかわらぬ、法律に縛られているという1点のみで莫大な費用をかける必要は本当にあるぬいか。回避する方法は模索できぬいぬいか。

事務局

- ・法の規定を超えてまでやることは難しい。

会長

- ・法律の規定を超えることはできぬい。
- ・土壤対策を行うことは理解していただきたい。
- ・できるだけダメージを与えぬいための工夫はこの場ではぬいぬい。

傍聴者

- ・コストは大切である。
- ・台風も増えてきていることから小さな根で大木が維持できるのかを考慮してほしい。
- ・斜面の排水についてはどのように考えているのか。

会長

- ・土壌対策をする上で樹木を囲う植栽柵の大きさはどのように考えているか。

事務局

- ・専門家の意見を聞き、個々の樹木で考えていく。
- ・今回の計画ではしっかりと排水計画を立てているが、再度確認する。

傍聴者

- ・自然保全型の計画に工事が中止になっている間に考え直すことはできないのか。

事務局

- ・協議会形式で今まで話し合ってきた計画である。

会長

- ・今まで協議し合意してきた内容がある。
- ・樹木の取扱い、土壌対策を決めた後に具体的な案を決めていきたい。

傍聴者

- ・もう少し住民の声を聴いていただけるような場を具体的に提示していただきたい。

事務局

- ・皆様のご意見を聞きながら協議会の場を取りまとめていきたい。

傍聴者

- ・この場を使うのではなく、私たちが話し合える場を作ってください私たちも案を提示していきたい。

事務局

- ・会長とも相談させていただきながら検討させていただきたい。

委員

- ・これまで公園の管理の状態はあまり良くなかった。
- ・公園が出来上がった後、皆さんが関心をもち同好会等を立ち上げ監視していくのがいいのではないかと。

会長

- ・公共空間をつくる時は地元と行政との役割分担が大切である。役割分担に関しても議論の中で話していきたい。

委員

- ・公園として早く開けたい。安全に登校できるようにしたい。
- ・予算がかかる、木を切らないでほしい等あるが発展的に進めていきたい。

会長

- ・土壌汚染の対策は事務局の方で東京都と議論し、どのようなことが可能なのか確認していただきたい。
- ・コストについても整理し、保全するべきか植替えをするべきか検討していただきたい。
- ・可能な条件を整理しご意見を伺った上で、多くの方が納得していただく設計に近づけていきたい。

<意見交換(参考資料について)>

会長

- ・公園には様々な使い方、考え方がありお互いの意見を排除しあうのではなく上手く使い方を考えなければならないことを理解していただきたい。

<意見交換(工事スケジュールについて)>

確認事項であったため、特に意見なし

<意見交換(全体について)>

委員

- ・封鎖されている下段が雑草等放置の状態です。死角になり危険。パトロール、管理等していただきたい。

事務局

- ・至急対応していきたい。

会長

- ・土壌対策については区の方でもう少し検討、東京都と協議し、提示していただきたい。
- ・設計の進め方も区の方で検討し、提示していただきたい。
- ・公園は工事中も含めて地域の環境なので良好な形で進めていただきたい。

<次回日程について>

事務局

- ・第 17 回協議会の開催日時は、東京都の環境局との調整、コストについても検討した上で会長と相談して決定する。

閉会

以 上